

2022 年度森林計画学会カンファレンスのご案内

この二年間コロナ禍で学会や研究集会もオンラインを強いられ、会員同士の交流や情報交換の場も大きく制限されてきました。その間にも森林・林業を巡る状況や社会情勢は大きく変化しようとしています。また、会員のみなさまの研究を取り巻く環境もめまぐるしく変化しています。森林計画学会の活動も、こうした流れに対応すべく、会員同士の交流を促進し、各会員の自由な発想を大いに喚起したいと考えています。

そこで従来秋に開催していた研究発表会を発展的に衣替えし、「カンファレンス」を開催することとしました。「カンファレンス」は、これまで同様の会員による研究成果の発表に加えて、進行中の研究プロジェクトの報告や森林計画学に関連する研究構想、森林管理に関する提言など、より自由度の高い発表を認める形式で行います。札幌に主会場を設け、オンラインを併用するハイブリッド方式とします。

発表は10件を予定しています。発表5件ずつの二部構成として、各部ごとに討論を行っていきたいと思います。多数のご参加を心よりお待ちしております。

発表の申込は締め切りでしたが、プログラムも決まりましたので、参加申込をお願いいたします(すでに申し込まれた方は改めて申込の必要はありません)。参加者にはアクセス方法等をご案内させていただきます。

日 時：2022年7月16日(土) 13:30~17:20

開催方法：ハイブリッド開催

対面会場：札幌市教育文化会館3階302研修室

(カンファレンス後、意見交換会を予定しています。)

申込方法：参加申し込みページにて申込み

(前日まで受け付けますが、出来るだけ早くお申込みください。)

参加申込ページ URL：

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc7K12lHaQlHrgXrWksQtXSwqKR1cUPN6AhpEHSPi6jRP5Ug/viewform>

問い合わせは jsfp.event@gmail.com (高橋) まで。

プログラム (敬称略)

13:30-13:35 会長挨拶 松村直人 (三重大学)

第一部 森林調査・DB

13:35-13:50 発表①

森林資源データに関する標準仕様の概要と新たな課題

○大萱直花・荒井恭子 (一般社団法人日本森林技術協会)

13:50-14:05 発表②

林道情報データベースの在り方とその更新方法に関する一考察

○鹿又秀聡(森林総研)・都築伸行 (森林総研)・笹田敬太郎 (森林総研)・大萱直花 (日本森林技術協会)

14:05-14:20 発表③

東京大学北海道演習林における森林施業・固定試験地・リモートセンシングのデータセット

○尾張敏章・中川雄治・小川 瞳・犬飼慎也・鈴木智之 (東京大学北海道演習林)

14:20-14:35 発表④

多時期衛星画像を用いた不成績トドマツ人工林抽出技術の試行

蝦名益仁 (北海道立総合研究機構 林業試験場)

14:35-14:50 発表⑤

森林・林業分野における UAS 研究および実利用の現状と課題

～UAS 研究分科会の提案～

高橋正義 (森林総研)

14:50-15:20 第一部総合討論(30分)

座長 光田靖 (宮崎大学)

15:20-15:30 休憩 10分

第二部 森林教育・森林計画

15:30-15:45 発表⑥

これでいいのか、大学・高等学校での森林科学の専門教育－経営分野を考える－
井上真理子（森林総研多摩森林科学園）

15:45-16:00 発表⑦

大学の講義「森林環境教育論」で扱う森林施業・森林計画
比屋根 哲（岩手大学大学院連合農学研究科）

16:00-16:15 発表⑧

表土流出防止を目的とした間伐の優先度とコストの分析
○山田祐亮（森林総研）・南光一樹（森林総研）・鹿又秀聡（森林総研）・細田和男（森林総研）
・西園朋広（森林総研）・山浦悠一（森林総研四国支所）

16:15-16:30 発表⑨

市町村の森林ゾーニングにはシナリオ分析に基づく手法の導入とそのための支援が必要
田中和博（京都先端科学大学）

16:30-16:45 発表⑩

森林計画文書および計画行政分野に関する情報共有
當山啓介（東京大学千葉演習林）

16:45-17:15 第二部総合討論(30分)

座長 當山啓介（東京大学千葉演習林）

17:15-17:20 閉会挨拶